投稿準備チェックリスト

著者名

【原稿の体裁について】

□ 抄録は400字程度で1段落にまとめている。

□ タイトル，氏名，所属等，規定のフォントおよび書式で記述している。

□ キーワードを提示している（3～6語）。

□ 本文は，MS明朝10.5pで記述している。

□ 本文は「である」調とし，常用漢字，現代仮名づかいにより，数字は算用数字を使用し

ている（半角MS明朝）。

□ 読点は「，」句点は「。」を用いている。

□ 図表等の番号，タイトルを正しく表示している（表は上に，図は下にタイトルをつける）。

□ すべての図表や写真は，十分に判読可能な大きさおよび解像度となっている。

□ ページ数が守られている（刷り上がり15ページ以内）。

□ 方法部分で，倫理的配慮への言及がなされている。

□ 註と引用文献は分けて文末にまとめて記述している。

□ 付記，謝辞について様式に則って記している。

□ 日本語引用の場合，年号のカッコは全角，年号は半角MS明朝に統一し，巻または号数を太字にしている。

□ 欧文雑誌論文引用の文献の場合，すべて半角Centuryに統一し，雑誌名はイタリック体，巻または号数を太字にしている。

□ 欧文書籍引用の場合，書籍名（イタリック体）のあとに，出版社，出版社の所在地，全ページ数または引用したページを記している。

□ オンラインから引用した場合，URLから元の文献にリンクが可能であることを確認の上，確認を行った日を閲覧日として記している。

□ 本文中の引用と引用文献に著者名および年号の不一致がない（引用文献リストには，本文で引用した文献以外は入れていない）。

□ 引用文献は著者の姓のアルファベット順に配列している。

□ 著者が3人以上の場合は，第一著者の姓の後に「ら」や「et.al」などをつけ，論文末の

引用文献に全員の氏名を記している（教科書のように執筆者が多い場合は省略することができる）。

【その他】

□ 英文タイトルおよび英文アブストラクトはネイティブの校閲を受けている。

□ 倫理的配慮について方法部分に明記している。

□ 利益相反について言及している。

□ 二重投稿や著作権侵害など，出版倫理に反していない。

【提出物について】

□ 投稿原稿は未発表，未投稿の論文である。

□ 投稿原稿（オリジナル原稿），査読用原稿（マスキング済み原稿）が揃っている。

□ 原稿送付状が付いている。

□ 投稿準備チェックリスト(本紙)が付いている。